

## 9) 高齢診療科

### 1. 診療体制と患者構成

#### 1) 診療科スタッフ（講師以上）

神崎 恒一（教授・診療科長）  
 大荷 満生（准教授）  
 長谷川 浩（准教授）  
 松井 敏史（准教授）  
 柴田 茂貴（学内講師）

#### 2) 常勤医師、非常勤医師

常勤医師数：23名（教授1名 准教授3名 学内講師1名  
 任期助教2名 医員10名 レジデント6名）  
 非常勤医師数：11名（客員教授2名 非常勤講師4名 専攻医5名）

#### 3) 指導医、専門医・認定医

日本老年医学会指導医	8名
老年病専門医	19名
日本内科学会指導医	5名
認定総合内科専門医	2名
認定内科医	28名
日本認知症学会指導医	7名
日本認知症学会専門医	12名
日本循環器学会循環器専門医	3名
日本消化器病学会消化器病専門医	1名
日本消化器内視鏡学会専門医	1名
日本臨床栄養学会認定臨床栄養指導医	1名
日本未病システム学会未病医学認定医	1名
日本プライマリケア学会指導医	1名
日本プライマリケア学会認定医	3名
日本麻酔科学会麻酔科認定医	1名
日本動脈硬化学会認定動脈化専門医	1名
日本医師会認定産業医	3名
日本神経学会専門医	1名
日本神経学会指導医	1名

#### 4) 外来診療の実績

高齢者内科外来としての「高齢診療科」と東京都認知症疾患医療センターとしての「もの忘れセンター」を運営している。

##### ・ 高齢診療科

年間のべ患者数 6,716名（救急外来を含む）  
 専門外来の種類

##### 脂質異常症専門外来（年間のべ患者数 1,351例）

・ 家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	15例
・ 家族性高コレステロール血症（ヘテロ接合体）	188例
・ I型脂質異常症	1例
・ IIa型脂質異常症	495例

- ・ IIb型脂質異常症 488例
- ・ IV型脂質異常症 245例
- ・ V型脂質異常症 48例
- ・ CETP欠損症 9例
- ・ 二次性脂質異常症（原発性胆汁性肝硬変、甲状腺機能低下症、薬剤性等を含む） 26例

高齢者栄養障害専門外来（年間のべ患者数 54例）

身体組成計測（インピーダンス法）、short physical performance battery等による  
栄養・身体機能の評価

骨粗鬆症外来（年間のべ患者数 59例）

・ もの忘れセンター

年間新患者数622名、のべ5,303名

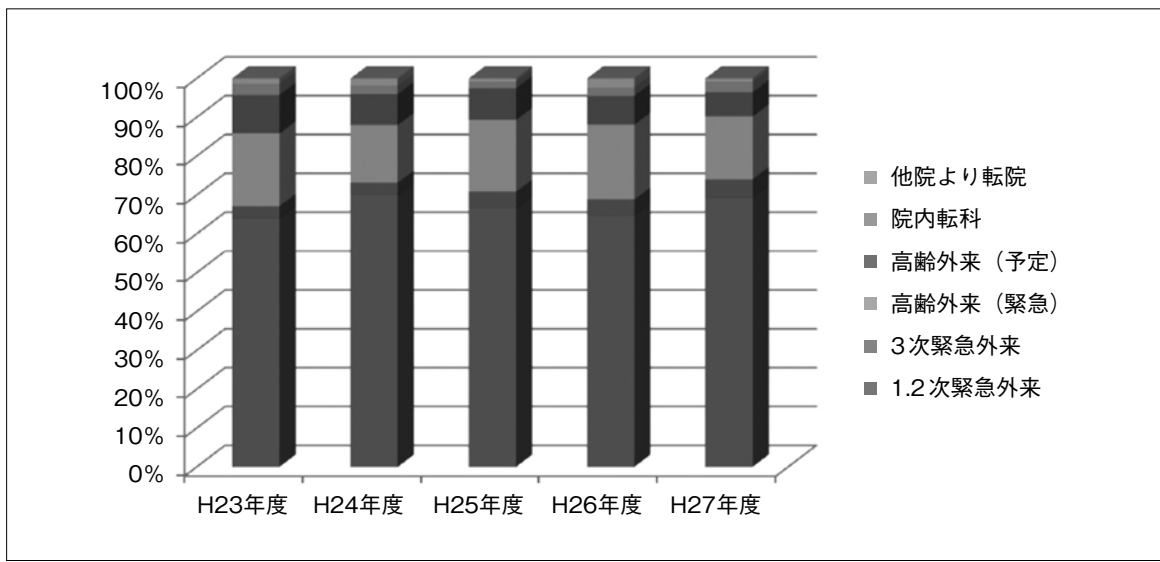
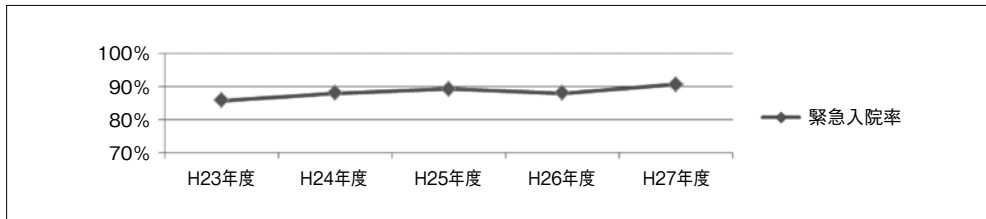
詳細な報告書を返送することで、紹介症例の多くは紹介医に逆紹介し治療を行っている。

年1-2回程度、当科で神経心理検査や画像検査を行う併診体制をとっている。

5) 入院診療の実績

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
新規入院患者数（のべ人数）	395	342	308	352	386
平均年齢	85.9	86.32	86.82	86.13	86.28
死亡患者数	41	37	34	53	34
剖検数	2	4	5	5	7
剖検率	4.88%	10.81%	14.71%	9.43%	20.60%

入院経路と緊急入院率



## 主要疾患患者数（のべ人数）の推移

主要疾患患者数（のべ人数）	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
神経精神疾患	281	231	186	245	357
呼吸器系疾患	325	267	214	228	286
循環器系疾患	381	364	325	350	507
消化器系疾患	212	199	151	162	170
腎泌尿器系疾患	192	236	195	147	188
筋骨格系疾患	98	73	70	82	98
血液系疾患	49	39	39	31	51
内分泌/代謝系疾患	176	129	129	189	185
その他の疾患*	273	188	167	145	328
悪性腫瘍全体	49	46	48	79	108

\*感染症、膠原病、DIC、廃用症候群、他科疾患など

## 2. 先進医療への取り組み

- 1) 総合機能評価（疾患評価、BADL、IADL、認知機能、うつ、意欲、社会的背景）を用いた認知症の診断と治療：重症度に応じた個別治療
- 2) 非侵襲的動脈硬化検査：非侵襲的検査（脈波速度、頸動脈エコー等）を用いた動脈硬化性疾患の病状把握
- 3) 大脳白質病変の半定量評価と危険因子検索
- 4) 光トポグラフィーを用いた大脳活動のリアルタイム評価
- 5) 経頭蓋超音波ドプラによる脳血流検査
- 6) サルコペニアならびにフレイルの定量的評価
- 7) 栄養評価：身体計測法、栄養調査表による詳細評価と生活指導

## 3. 低侵襲医療の施行項目と施行例数

大脳白質病変検査：	714例
重心動揺計	384例
転倒検査：	497例
総合機能評価：	2077例
光トポグラフィー：	60例

## 4. 地域への貢献（講演会、講義、患者相談会など）

東京都認知症疾患医療センターであるもの忘れセンターでは、下記の家族教室を定期開催するとともに、近隣自治体や医師会等での講演会・講習会・研修会活動を行っている。

- ・もの忘れ家族教室

中居龍平、金、認定看護師、音楽療法士、ソーシャルワーカー他 年間81回開催

認知症入門、予防・治療、介護、運動療法、音楽療法、介護保険の6テーマを繰り返し、毎回6家族限定で開催している。

- ・近隣地域（三鷹市、武蔵野市、調布市、小金井市）での講演会・講習会・研修会 17回